

神戸造船労働組合及神戸新機造船労働組合は、我々縣聯合加盟の金屬工団体と共に、苦難なる吾等港に於ける労働運動史上に、幾多の程やかしき、斗争の刻印して、今日に至るて居る。即ち、前者は大正四年、神戸一級労働者組合、船舶労働者と主體に、川崎三菱に於ける一級労働者を糾合し、統縣会神戸地方の結成と同時に生れ出て、より、川崎、三菱に於ける幾度かの大量祓首を著し、造船労働者唯一の要塞として、その組織を広く深く、大衆的規模に於て保ち、造船資本家の心腹を奪ひ去つた。後者は、皆一級労働者から支那、